

恵庭市長定例記者会見（R1.12.16）

お忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。

本日は、第4回定例会が終了しましたので、議会を終えての所感、並びに今後予定する事業などについて発表させていただきます。

今議会におきましては、追加議案3件を含む21件の議案について審議いただきました。

その主なものといたしまして、「公の施設の指定管理者の指定」や「令和元年度一般会計補正予算」などがありましたが、その全ての議案についてご承認いただきましたことに、まずもって感謝いたします。

また、一般質問や各常任委員会の中で、市政の各般にわたる課題に関し、ご提言をいただきました。

これら議会からのご指摘を大切にしながら、さまざまな施策の推進を図って参ります。

それでは、本日の発表内容を述べさせていただきます。



まず1点目は、「北海道大演習場における日米共同訓練」についてであります。

1月22日から2月8日の18日間、陸上自衛隊北海道大演習場において、沖縄の負担を軽減することを目的とした日米共同訓練・ノーザンヴァイパーの実施について、12月12日、防衛省及び陸上自衛隊から訓練概要が公表されたところであります。

今回の訓練においては、MV-22オスプレイをはじめとする航空機の運用を含めた各種訓練を実施するとのことであります。

本市といたしましては、本日、午前において、北海道防衛局に出向き、北海道、関係自治体と連名で、国に対して、これまで築いてきた地域との信頼関係を損なうことなく、訓練の安全対策はもちろんのこと、市民生活に不安や支障を与えることのないよう、詳細な情報提供など万全な対策を講じられるよう、求めて参ったところであります。

2点目は、「年末年始休暇に伴う市役所庁舎の特別開庁」についてであります。

市役所の年末年始休暇は、条例により「12月29日から翌年の1月3日」となっ

ておりますが、今年度の年末年始休暇は、土曜日、日曜日が重なり、9連休といった長期になりますことから、窓口の長期間の休みによる市民の皆様の不便解消を目的として「12月30日（月）8時45分から17時15分」の全日については、一部の窓口を特別開庁とすることといたしました。

取り扱う窓口業務の詳細につきましては、配布の資料をご参照いただきますが、市民課及び国保医療課で、各種届出の受付や証明書等の交付を行い、市民サービスの確保を図って参ります。

なお、取り扱う業務につきましては、ホームページや広報で市民の皆様に周知いたしておりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

3点目は、「すずらん保育園の民営化に係る事業者決定」についてであります。

市立すずらん保育園の民営化に向けましては、本年6月に事業者選定委員会を設置し、募集要項や審査評価調書の検討等を行い、応募書類の審査、応募事業者からのプレゼンテーション及びヒアリング等を行い、事業者の選定を行って参りました。

11月27日に事業者選定委員会より、幼児教育・保育に対する理念・専門性、人員体制、事業の計画・実施状況、施設管理・運営、資金計画等、様々な視点から、慎重かつ厳正な審査を行った結果、すずらん保育園の運営を継承し、新たに幼保連携型認定こども園の運営を行う事業者として「学校法人鶴岡学園」は「適格」と判断されたことから、同委員会の選定結果を尊重し、12月9日に新たな事業者を「学校法人鶴岡学園」に決定いたしました。

今後については、令和3年4月の幼保連携型認定こども園開設に向けて、市民及び保護者の期待やニーズに応えた保育サービスの提供を図るために、市・法人・保護者の三者協議会や保護者説明会を開催し、より円滑な移行を進めて参ります。

4点目は、「えにわっこサポート事業パンフレットの作成」であります。

恵庭で子どもを生み、育てたいという市民を応援し、次代を担う子どもたちの健やかな成長を見守り、地域全体で子育てを応援することを目的に、市内の教育、福祉、医療、経済、地域の関係団体等で構成する「えにわ子育て応援隊」事業のひとつ「えにわっこサポート事業」の新パンフレットを作成しました。

「えにわっこサポート事業」は、子育て世帯の方がサポートカードを提示すると、市内の飲食・建設・理美容室・各商業施設から様々なサービスを提供していただけるもので、本年度は新たに18事業所を加えた71の協賛店様のご厚意により実施しています。

この度、地域全体で子育てを応援している本事業のPRのために、パンフレットを作成いたしました。

表紙には、今年度、市内の小中学生等に投票で選んでももらいました「子育て応援隊

シンボルマーク」を掲げ、サポートカードもデザインを一新し、より多くの方に「えにわ子育て応援隊」を知っていただくことで、子育てを地域全体で応援するという機運を高め、恵庭市の子育て支援を一層充実させて参りたいと考えております。

5 点目は、「(仮称) 花の拠点の愛称募集」についてであります。

恵庭市が令和 2 年度中の供用開始を目指し、整備をしている「花の拠点」について、たくさんの人に愛され、親しまれる公園になるよう、愛称をつけることといたしました。

愛称については広く公募を行い、明日 17 日から公募を開始し、来年 1 月 31 日まで受付をすることとしております。

応募は 1 人につき 2 作品まで可能としており、最優秀作品 1 点と優秀作品若干数を選定することとしています。

公募市民などで構成された選考委員会において愛称を決定し、市民のみなさまに公表したいと考えております。

また、来年秋ころにガーデンエリアが完成することから、その完成イベントにおいて、表彰式を実施することとしております。

以上、簡単にご説明いたしましたが、道と川の駅を含む花の拠点全体の愛称を決定したいと考えておりますので、皆様からの応募をお待ちしております。

6 点目は、「使用料・手数料条例の改正」についてであります。

今年 10 月に施行された消費税増税を契機とした全庁的な使用料・手数料の見直しとして、いずれも令和 2 年 4 月 1 日以降の料金からの施行を予定し、各種条例を改正するものであります。

使用料の見直しにあたっては、法令に準拠した改正や文言整理のほか、平成 28 年 4 月に策定した『公の施設の使用料の設定基準』に基づき算定することを基本としております。算定の基礎額として市民利用は維持管理費、市外の人が利用する場合は維持管理費に加えて減価償却費を計上することとし、その上で受益者負担割合や稼働率を加味して料金設定致しました。

手数料の見直しにあたっては、現状に即した取り扱いの見直しや文言整理のほか、役務に提供する費用を算定の上、同一役務の対価は同一料金ということで「パソコン端末から対象情報を選択し用紙をプリンター出力して証明する作業」など役務の内容を整理し、同じ役務に対しては同じ料金を設定するという考えを基本としております。

また、近隣市の手数料についても調査し、料金設定の妥当性を確認致しました。

施行日としております令和 2 年 4 月 1 日に向けて窓口やホームページなどで丁寧に周知したく考えておりますので宜しくお願いいたします。

以上、6項目について説明させていただきました。
詳細については、各担当からお聞きください。

●質疑応答

「北海道大演習場における日米共同訓練」について

(記者) 本日午前に申し入れを行ったとのことだが、今後の申し入れ予定はあるのか？

(市長) 訓練内容に変更があれば要望することもあるが、今のところは予定していない。

(記者) 要望提出の際にはどのようなやり取りをしたのか？

(市長) 防衛局長へ北海道副知事と6市4町の代表の連名で要望書を提出した。

(記者) 訓練に関する市民からの問い合わせはあったか？

(総務部長) 市民からの問い合わせはないです。

(記者) 近隣自治体との連携はあるのか？

(市長) 要望書の提出は一緒に行ったが、近隣自治体との相互の連携というものはない。

(記者) 庁内として今後の動きはあるのか？

(市長) 訓練についてホームページへの掲載、町内会長、市議会への連絡を行ったが、今後何か新たなことが出てきた際には、我々がわかる範囲のものであればその都度対応し、わからないことは防衛局へつなぐということになる。

(記者) 要望の内容には、市街地上空を飛行しないことや夜間の訓練中止などは盛り込まれているのか？

(市長) 要望書の文面には入っていないが、市街地上空を飛ばないことや情報提供をしてほしい旨を口頭で申し入れた。

「えにわっこサポート事業パンフレットの作成」について

(記者) パンフレットを作成した時期と作成の目的は？

(子ども家庭課長) 事業は元々行っていたものだが、周知が上手くいかず活用がなされていなかった。昨年度子育て応援隊が発会したことから、企業も含めて子育てを地域全体で応援する内容をパンフレットにまとめ、PRするために作成した。

(記者) 事業はいつから実施していたのか？

(市長) 12～3年前から実施しているが、PRされていなかった。

(子ども未来部長) これまで事業の見直し等も行っていなかった。子育て応援隊ができたことによって18事業所が加わったことから、広くPRすべきとの意見もあり作成に至った。

(子ども家庭課長) 全小中学校と幼稚園・保育園を通して配布し、転入者には子ども家庭課の窓口へ寄った際に渡している。また、広報誌を通じてパンフレット配置場所を周知する予定。

「(仮称) 花の拠点の愛称募集」について

(記者) 応募は市内の方のみか？

(花と緑・観光課長) 市外の方も応募できます。

その他

(記者) イトーヨーカドー跡地について、町内会や商店会から要望書を出すなどの動きはあるか？

(経済部長) 所有者へ要望する予定ということは伺っているが、実際の動きはまだない。

(記者) 所有者からの市への情報提供などはあるのか？

(経済部長) 連絡は取っているが、今のところはない。

(記者) 花の拠点センターハウスに入る民間事業所の目途はついているのか？

(市長) 今のところはまだない。

(記者) 花の拠点センターハウスの採算性などの話もあったが、民間活力の活用の難しさと課題を今後どのように打開していこうと考えているか？

(市長) 民間は収益性を重視することから、民間活力を活用することの難しさはあるが、諦めずに PR しながらやっていきたいと思っている。着手して間もないので、事業者としてはどのようなになるのかが見えず、イメージできない部分があると思う。興味を示している業者もないわけではないが、ある程度形が見えてきたら手を挙げる業者も増えてくるのではないかと考えているので、そのような業者と話し合いながら事業を進めていきたい。